

LIFE TIMES



平成29年11月1日(水)発行 【隔月(年6回)発行】

発行部署 : ソリューション営業第2本部ソリューション開発部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4600
発行責任者 : 白土 雄二郎
お問合せ窓口 : 石山 義裕

第132号

【目次】

1. ベトナムに現地法人を設立
2. LPG船「第八菱頭丸」進水式
3. 2017年度MCLC防災訓練実施
4. 2017年度MCCグループ生産技術ポスターセッション参加報告
5. MCLC場所紹介 ~大竹営業所(広島県大竹市)~
6. ICTを活用した営業支援セミナー 参加レポート
7. JAPAN PACK 2017 参加レポート

1. ベトナムに現地法人を設立

当社は、9月12日、ベトナム(ホーチミン市)に現地法人を設立致しました。

世界経済の伸長をけん引するアジア地域においてベトナムは安定成長を続けており、ケミカルの分野でも大きく伸長していることから、ケミカル品の物流の増加が見込まれます。この流れを受け、当社はベトナム国内におけるケミカル品を中心としたフォワーディング業務、物流に関する管理コンサルティング業務、包装資材取扱業務(申請中)を行う現地法人を立ち上げました。

東南アジア地域における当社の新たな拠点として、ベトナム近隣諸国も含めたネットワークの更なる拡充を目指します。

【ベトナム現地法人の概要】

- ◆会社名
Vietnam Chemical Logistics Company Limited
- ◆所在地
Unit 1606 on 16th floor 2A-4A, Ton Duc Thang Street, Ben Nghe Ward, District 1, Ho Chi Minh City, Viet Nam
- ◆設立・営業開始日
2017年9月12日
- ◆資本金
88億ベトナムドン(約4,200万円)
- ◆資本構成
三菱ケミカル物流株式会社 100%
- ◆事業内容
フォワーディング業、コンサルタント業、包材購入販売業
(※包材購入販売業は申請中)
- ◆代表者
山本 一三(やまもとかずみ)

【当社海外拠点】



2. LPG船「第八菱頭丸」進水式

9月13日に大分県佐伯市の三浦造船所で「第八菱頭丸(だいはちりょうけんまる)」の進水式を挙りました。

「第八菱頭丸」は、7月末に就航した「菱翠(りょうすい)」と同型船で、液化石油ガス(LPG)運搬船として三菱ケミカルグループの国内拠点間を運航します。本船の特徴は、『省エネ』・『船内環境に配慮されている』という点です。具体的には以下の2点が挙げられます。

- ①「カーボンプロペラ」と「エコキャップフィン」の装着
- ②造波抵抗を抑えた省エネ船型の採用

当社の目指す「KAITEKI物流」の重要なツールの一つである、三菱ケミカル社の炭素繊維強化樹脂複合材を用いた「カーボンプロペラ」と省エネ付加物(※)として「エコキャップフィン」を装着することにより、銅合金製のプロペラと比べると重量が半分以下になり、燃費が向上することに加えて、振動や騒音が軽減されるので船内の労働環境が向上する効果が見込まれます。また、造波抵抗を抑えた省エネ船型の採用も燃費の向上に役立っています。

進水式では、日本文理大学附属高等学校プラスバンド部による演奏の中、地元の皆さんや関係者に見守られ、無事に進水しました。

(※)船舶の省エネルギー装置の中で、船体抵抗や推進効率を改善する目的で船体やプロペラの周辺に設置される付加的な形状物

カーボンプロペラ
+エコキャップフィン



3. 2017年度MCLC防災訓練

当社では、物流リスクへの対応として防災対策の強化に取り組んでいます。今年度も9月～11月にかけて、各支社・油槽所にて総合防災訓練を行います。

万一の事故にも迅速かつ適切に対応するため、どの拠点も今までの知見に工夫を加え、本番さながらの訓練を行います。昨年度からICTを活用した訓練にも取り組んでおり、現地からリアルタイムに動画や画像の提供を受け、状況を迅速且つ正確に把握できるようになりました。

当社は、訓練を通じて防災体制の強化を進めていくなかで、新たな技術を積極的に取り入れ、最善の体制を整えていくことで、今まで以上に「安全・安心」で信頼される物流企業を目指します。

【本年度MCLC防災訓練内容】

場所名	訓練概要
坂出支社	①屋外消火栓操作基本訓練 ②ローリー積荷漏洩事故想定訓練 ③内航船舶事故想定訓練
尼崎油槽所	①ローリー車両事故による製品漏洩処置訓練 ②小型消火器操作 ③タンク火災消火
川崎油槽所	①危険物積載コンテナ車事故漏洩防除訓練 ②火災対応訓練
水島支社	①基本行動訓練 ②ホース操作による初期消火対応訓練 ③製品漏洩処置訓練
鹿島支社	①製品漏洩処置対応訓練 ・AED操作による心肺蘇生及び担架搬送 ・漏洩処置のため救援ローリーへの製品移送(模擬)
四日市支社	①屋外消火栓操作訓練 ②製品漏洩処置対応訓練
黒崎支社	①屋外消火栓操作訓練 ②構内漏洩処置訓練 ③ローリー漏洩処置対応訓練

【尼崎油槽所訓練風景】



ローリー 製品漏洩処置訓練



消火器操作訓練



タンク火災消火訓練

4. 三菱ケミカルグループ生産技術ポスターセッション参加報告

10月10日に第1回三菱ケミカルグループ生産技術ポスターセッションが開催されました。これは、三菱ケミカルグループの保有する生産技術に関する最新の展開を関係部署と共有し、成長に向けた新しいテーマの発見と設定につなげることを目的としています。旧三菱化学グループとしての開催から通算すると本年度で14回目の開催となり、当社も昨年に引き続き出展しました。

本展で取り上げられたテーマは、生産現場の安定化、コスト削減、省エネ、商品開発、保安安全など有効な生産技術の適用事例から、新規事業や生産システム・プロセス、設備管理、ICTに関するものまで多岐に渡る内容で、全63テーマで開催されました。

当社からは、四日市支社富山営業所が「三菱ケミカル富山事業所における物流改善」をテーマとして出展し、包装設備改善と輸送品質改善という課題解決に向けてどの様に取り組み、成果を上げたか発表を行いました。

当日は来訪者に説明を行うだけでなく活発な情報交換も行われ、多くのご意見を頂くことができ、大変貴重な機会となりました。



5. MCLC場所紹介 ～大竹営業所(広島県大竹市)～

水島支社大竹営業所は、広島県の西端、山口県との県境の大竹市にあり、当社の所員3名、協力会社5名で場内倉庫管理・製品輸送及び営業所に近接するお客様の輸送業務に日々奮闘しています。

大竹市は、古代には遠管郷(おかのさと)と呼ばれ、当時の都と九州・大宰府を結ぶ古代山陽道の安芸の国の終駅という交通の要所として栄えました。

戦時中は旧日本海軍の潜水学校があり、戦後は引き揚げ港にもなった大竹港、JR山陽本線、山陽自動車道のインターチェンジなど交通の便が良く、きれいで豊かな水の小瀬川が流れ、パルプ、化学繊維、石油化学などの大企業を誘致し、瀬戸内地域で有数の臨海工業地区に発展しています。

また、平成24年に開業した岩国錦帯橋空港まで車で約20分という立地から、東京からも近くなりますます交通の便がよくなりました。

北には広島県立自然公園の三倉岳、広島県指定天然記念物の蛇喰磐(じゃくいいわ)、南には瀬戸内海とそこに浮かぶ阿多田島など、山と海に恵まれた風光明媚な街でもあります。これからは牡蠣の美味しい季節に入ります、目もお腹も満足させてくれる大竹市へ是非お立ち寄り下さい！



旧潜水学校モニュメント



三倉岳



蛇喰磐



阿多田島

6. ICTを活用した営業支援セミナー 参加レポート

9月22日に株式会社WEICおよび東洋経済新報社が共催するSales Tech Conference 2017に参加しました。今回のテーマは、ICTを活用した営業支援の最新状況に関するもので、各社で導入され始めている新しい営業のあり方を学ぶ機会となりました。

営業手法はどうしても属人的になりがちですが、近年ICTを活用し営業データを大量に解析することで成約率を向上させた企業が増加しているとのことでした。具体的には、顧客との電話や面談記録をもとに各顧客の属性をデータ化し、過去の結果から成約の可能性が高い見込顧客が持つ属性を分析するなど、見込顧客の絞込み作業を自動化した事例紹介がありました。

2020年までに現在の10倍ものデータがクラウド上に蓄積されるとの予測もあり、今後ビッグデータやAIの活用が進む中、こうした各社の動きは更に加速すると感じました。実際にAIを導入した営業支援の仕組みを持つ企業もあるようです。

当社においても過去の大量な物流実績データを活用して、潜在的なニーズを持つ荷主企業へのアプローチや、既存荷主との積合せ検討などを行っています。AIなどの最新技術の導入を視野に入れた検討も着手しており、多様な視点から更なる提案へ結びつけるよう検討を続けてまいります。

7. JAPAN PACK 2017 参加レポート

10月3日～6日までの4日間、東京国際展示場(ビッグサイト)で開催された「JAPAN PACK 2017」に参加してきました。この展示会は、包装機械をはじめ包装材料、製造加工関連機器などの展示にとどまらず、基調講演会、特別講演会、専門セミナーなども開かれ最新情報やトレンドを知る良い機会となりました。

物流に関連する展示では、自動搬送機や人の作業をサポートする形のロボットの紹介、最新制御を備えた自動仕分け設備などがありました。

工場や物流現場の自動化・IoT化を進める上でこの様な最新機器の導入は有用である一方、コスト面や、複雑なシステムのメンテナンス業務など、まだまだハードルも多そうです。

今後も展示会を通して効率化に繋がる情報を収集するとともに、効率化を図る前に現場の課題を抽出することも必要であるため、現場を見る目を養うことにも取り組んでいきたいと思いました。



編集後記

11月に入り、暦の上では間もなく冬を迎えますが、紅葉が見頃になる季節でもあります。例年では北海道から東北地方は既に終盤の時期ですが、南の方ではまだまだこれから色付いてくる地域も多いのではないのでしょうか。

休日に遠出しての紅葉狩りも良いですが、改めて見れば普段の通勤ルートにある街路樹や住宅街の木々もきれいに紅葉していることに気付かされます。平日の慌ただしい生活リズムに見落としがちですが、ちょっと立ち止まってホッと一息、プチ紅葉狩りを楽しんでみてはいかがでしょうか。(It)